



セッション概要

主催：SASユーザー会 世話人会
協力：SAS Institute Japan 株式会社
会場：タワーホール船堀
会期：2010年7月26日(月)～27日(火)

金融キーノート

B-1 7/26(月) 11:00~11:30 2F 蓬萊

金融機関リスク管理実務と金融規制の今後

日本総研 理事 西口 健二氏

リーマンショックから2年近くが経過するが、金融システムの将来像について必ずしも明確にはなっていない。本講演では、金融機関のリスク管理と金融規制について、最新の動向や考え方さらには業務への影響を紹介し金融の今後を展望する。

SASシステム

A-15 7/27(火) 13:15~13:45 5F 大ホール

SASによるExcel出力に関する機能の比較検討 ~スタンドアロン環境からBI環境まで~

(株)タクミンフォメーションテクノロジー 代表取締役 佐藤 耕一

ODS ExcelXP、DDE、LIBNAME EXCEL エンジンなどのExcelへの出力機能を比較検討し、それぞれの使用法と利点・欠点をまとめ、スタンドアロン環境とBI環境を対象に比較検討した。

A-16 7/27(火) 13:45~14:15 5F 大ホール

Kaplan-Meierプロットに付加情報を追加するマクロの作成

城西大学 薬学部 薬科学科 長島 健悟
千葉大学 医学部、ハーバード大学 公衆衛生大学院 生物統計部門 佐藤 泰憲

Kaplan-Meierプロットにリスク集合の大きさ、Log-rank検定のP値、ハザード比などの付加情報を追加するSASマクロを作成した。発表では、SAS 9.2のLIFETEST Procedureの出力結果との比較についても述べる。

A-17 7/27(火) 14:15~14:45 5F 大ホール

RTFを用いた総括報告書の解析結果作成業務の効率化

小野薬品工業(株) データサイエンス室 吉崎 正浩
イービーエス(株) 臨床情報処理部門 統計解析部 加藤 紀隆、加賀 保行
小野薬品工業(株) データサイエンス室 富金原 悟

総括報告書作成業務の効率化を目指し、RTFを用いた解析結果作成と多数のRTFファイルの利用及び管理を容易にするため、1つのRTFファイルに結合し、図表番号を自動で付与するプログラムを作成した。

B-8 7/26(月) 16:00~16:30 2F 蓬萊

Webサイトのアクセス解析

(株)ふくおかフィナンシャルグループ 営業企画部 主任調査役 須永 真直
SAS Institute Japan(株) テクニカルサポート 村上 廉史

データ量が多い、1行に複数の文字コードが使われている、分析上不要なデータが大量に含まれる等、活用以前の問題で躓いてしまうこと多いWebアクセスログをデータセット化する処理および、活用例。

B-15 7/27(火) 13:45~14:45 2F 瑞雲

C-1 7/26(月) 13:15~14:15 4F 401会議室

What's New in SAS 9.22 Analytics

SAS Institute Japan(株) 泉水 克之

SAS/STAT9.22における新機能など、近頃利用できるようになった分析に関するSASの拡張点を紹介する。

医薬品開発

A-1 7/26(月) 11:00~11:30 5F 大ホール

MCMCプロシジャによるベイズ推定とARSアルゴリズムの実装

武田薬品工業(株) 医薬開発本部 日本開発センタークリニカルデータサイエンス部 井桁 正亮
SAS 9.2で実装されたMCMCプロシジャとそのアルゴリズムを紹介し、UDSステートメントとFCMPプロシジャによりAdaptive Rejection Samplingを実装する方法を紹介する。

A-2 7/26(月) 11:30~12:00 5F 大ホール

Cox 回帰における Bayes 推定と PHREG プロシジャ

武田薬品工業(株) 医薬開発本部 日本開発センター クリニカルデータサイエンス部 統計グループ 黒田 晋吾
PHREGプロシジャにおけるBAYESステートメントについて解説を行い、Cox回帰における回帰パラメータのBayes推定値の算出方法やSGPLOTプロシジャによる事後分布の密度推定の方法を示す。

A-4 7/26(月) 14:15~14:45 5F 大ホール

経時データに対する投与前値を考慮した解析モデルの比較検討

中外製薬(株) 臨床企画推進部 高橋 行雄

経時測定データに対する投与前値を考慮したMIXEDプロシジャの様々な解析方法の利点欠点を示し、追試可能なシミュレーションデータにより、それらの解析法の統計的性能も提示しつつ標準とすべき解析法を提案する。

A-5 7/26(月) 14:45~15:15 5F 大ホール

薬物併用効果の解析

大日本住友製薬(株) 研究管理部 杉本 忠則

受容体理論に基づき、2薬物が併用された場合の併用効果の評価法を提案し、SASを用いた解析例を紹介する。

A-6 7/26(月) 15:30~16:00 5F 大ホール

臨床試験データへのGLMSELECT procedureの適用

大正製薬(株) 臨床統計部 横溝 孝明
アステラス製薬株式会社 データサイエンス部 三角 俊裕
中外製薬株式会社 臨床企画推進部 高橋 行雄

臨床試験データ(シミュレーションデータ)から、反応変数に影響を与える変数を選別する方法についてGLMSELECT procedureを用いて検討したので、その詳細を発表する。

A-7 7/26(月) 16:00~16:30 5F 大ホール

がんの第II相試験における2段階デザインの比較検討

小野薬品工業(株) データサイエンス室 山本 倫生
伊藤 嘉彦、富金原 悟
東北大学 医学統計学 山口 拓洋

Simon法、Bayes流の方法など、がんの第II相試験で利用される単群の2段階デザインについて、被験者数/奏効率の設定値と真値とのズレに対する頑健性などから、各デザインの性質の比較検討を行う。

A-8 7/26(月) 16:30~17:00 5F 大ホール

非劣性試験の症例数設計方法の紹介 ~生存時間データの場合~

グラクソ・スミスクライン(株) バイオメディカルデータサイエンス部 張 方紅
寺尾 工

生存時間を評価項目とする非劣性臨床試験における症例数設計方法を紹介する。優越性試験で用いられている2つの方法、ハザード比に基づく方法とハザード差に基づく方法を非劣試験に適用できることを説明する。

A-12 7/27(火) 11:00~11:30 5F 大ホール

Propensity Score法によるバイアスの調整法に関する実務的な問題点

(株)バイオスタティスティカルリサーチ 代表取締役 古川 敏仁
杉本 典子

バイアスの調整法として重要な手法の1つであるPropensity Score解析について、実務的な注意点や、役に立つ解析補助ツールについて体系的に解説する。

A-13 **7/27(火) 12:15~12:45 5F 大ホール**

SAS ライフサイエンスソリューション活用による 医薬品開発の更なる効率化

SAS Institute Japan(株) ビジネス開発本部 ライフサイエンスグループ マネージャー 角田 亮
SAS のライフサイエンス向けソリューションである SDD と CDI の概要と今後の方向性を説明し、医薬品開発の更なる効率化に向けた SAS の考え方、取り組みを紹介する。

チュートリアル

A-3 **7/26(月) 13:15~14:15 5F 大ホール**

SAS による中間解析のデザインと解析

東京理科大学大学院 工学研究科 経営工学専攻 教授 浜田 知久夫

V9.2 から中間解析を計画するための SEQDESIGN プロシジャと、解析するための SEQTEST プロシジャが実験版として追加された。本発表では、中間解析の数理と、この 2 つのプロシジャが出力する内容についてチュートリアルとして解説を行う。

リスク管理

B-2 **7/26(月) 11:30~12:00 2F 蓬萊**

データのモニタリング手法について

日本リスク・データ・バンク(株) 調査企画部 シニアマネージャー 岡田 絵理

モデル構築は RDB の主なサービスの 1 つであるが、モデル構築の事前分析として財務指標に関する分析を実施し、デフォルト判別に有効な要因は何かといった情報を得てモデル構築に活用している。

B-3 **7/26(月) 13:15~13:45 2F 蓬萊**

金融犯罪対応業務における SAS の活用

SAS Institute Japan(株) ビジネス開発本部 RIグループ マネージャー 早川 武志

振り込み詐欺やマネーロンダリングへの対応に向けて、金融機関の対応が進んでいる。本セッションでは SAS が提唱する Hybrid(複合)アプローチを通して、国内外の金融機関における金融犯罪対策への SAS 活用の方法論を紹介する。

B-4 **7/26(月) 13:45~14:15 2F 蓬萊**

SAS を用いたローン時価評価ツールの開発

みずほ第一フィナンシャルテクノロジー(株) 金融工学第二部 課長 羽柴 次郎
李 綺

みずほ第一フィナンシャルテクノロジー社が開発したローン債権の時価評価ツールを紹介し、内部ロジックの実装に用いられた SAS の活用事例について紹介する。

マーケティング・調査

B-5 **7/26(月) 14:15~14:45 2F 蓬萊**

イベント・ベースド・マーケティングによる 住宅ローンプリペイメントの抑制 ~銀行取引を考慮したプリペイメントモデルの構築~

(株)浜銀総合研究所 情報戦略コンサルティング部 小柳 誠
小谷田 知行、影井 智宏

住宅ローンのプリペイメントを銀行保有の債権特性データに加え、返済履歴や銀行取引に関する情報を用いモデル化する。また、EBM の観点から顧客へのアプローチを検討する。

B-6 **7/26(月) 14:45~15:15 2F 蓬萊**

イベント・ベースド・マーケティングによる 住宅ローン既存先へのクロスセルの推進 ~RAROA に基づく長期的な収益の増強~

(株)浜銀総合研究所 情報戦略コンサルティング部 岡部 雄一郎
小谷田 知行

近年、収益性が低下しつつある住宅ローンをゲートウェイ商品として捉えて、EBM によるクロスセルにより、長期的な収益を増強していくアプローチを紹介する。なお、収益の観点としては、RAROA を用いる。

B-7 **7/26(月) 15:30~16:00 2F 蓬萊**

銀行本体発行クレジットカードにおける イベント・ベースド・マーケティング ~ライフコースを考慮した利用変化の検知~

(株)浜銀総合研究所 情報戦略コンサルティング部 影井 智宏
小谷田 知行

銀行本体発行クレジットカードという利点を活かし、ライフコースを考慮した消費者の動的变化とクレジットカード利用の動的变化とを組み合わせることにより利用拡大のための有効的な手段を EBM の観点から提案する。

B-10 **7/27(火) 10:00~10:30 2F 瑞雲**

医療用医薬品の市場構造に関する考察

MarkeTech Consulting 代表 武藤 猛

医療用医薬品の市場を支配する競争の要因を、製薬企業間および薬効領域内という 2 つのレベルで考察する。前者では売上高と時価総額の決定要因を分析し、後者では薬効領域における競争のタイプを分類する。

統計解析

A-9 **7/27(火) 9:30~10:00 5F 大ホール**

サバイバルツリー法の改良と SAS/PHREG プロシジャによる実行

(株)イベリカ CRD 臨床開発推進部 DM・統計解析課 浜田 泉
久留米大学 バイオ統計センター 川口 淳

生存時間と予後因子の関係を明らかにするための手法の一つであるサバイバルツリー法を改良し、その手法を適用するにあたり SAS/PHREG プロシジャを有効に用いた実際のプログラムを紹介する。

A-10 **7/27(火) 10:00~10:30 5F 大ホール**

拡張二変量順位和統計量を用いた クロスオーバー臨床試験における薬効比較法の SAS マクロ

久留米大学 バイオ統計センター 川口 淳

Kawaguchi et al.(2009 Biometrics)における二変量順位和統計量を拡張した方法をクロスオーバー臨床試験データ解析に応用するための SAS マクロを紹介する。

A-11 **7/27(火) 10:30~11:00 5F 大ホール**

不等分散が Dunnett 型多重比較の性能に及ぼす 影響についてのサンプルサイズ別検討

東北大学加齢医学研究所 老年医学分野 助教 富田 尚希
東レ株式会社 医薬開発推進室 土居 正明
東北大学 加齢医学研究所老年医学分野 新田 明美
国立保健医療科学院 人材育成部 横山 徹爾

不等分散を示すデータに対し多重比較の検定を行うと、その有意水準・検出力にどのような影響を及ぼすのかを複数のサンプルサイズで検討し、どの手法を選択すべきかをシミュレーションを通じて検討した。

経済分析

A-14 **7/27(火) 12:45~13:15 5F 大ホール**

SASによるWebデータの統計解析: XML データ入出力と不動産バリュエーションマップ作成への応用

中外製薬(株) 臨床企画推進部 松島 純之介
中央大学大学院 国際会計研究科 准教授 石島 博
渡部 育恵

SAS による Web データ(XML)の解析法を紹介し、例として不動産バリュエーションマップを作成する。Web データから不動産の価格とリスクを推定し、結果を Google Map 上に表示する。

B-11 **7/27(火) 10:30~11:00 2F 瑞雲**

産業連関表の三角化の検討

(株)インクリース研究所 中村 竜児

産業連関表の三角化とその導出アルゴリズムの検討。

臨床試験データ解析

A-18 論 7/27(火) 14:45~15:15 5F 大ホール

テンプレートプログラムの開発

サノフィ・アベンティス(株) 医薬開発本部 統計解析・プログラミング部 アシスタントマネージャー 市橋 里絵
江口 幸子、渡邊 大丞、月田 あづさ

総括報告書に必要な帳票の約65%を網羅しかつ領域に問わず適応できる Template Programs の日仏米3国協力しての開発経験について報告する。

経済分析またはマーケティング・調査

B-9 論 7/27(火) 9:30~10:00 2F 瑞雲

5回の学生調査から探る実演芸術鑑賞 行動パターンとその規定要因 ~学生調査データベースの構築と分析を通して~

兵庫県立大学 応用情報科学研究科 教授 有馬 昌宏
日本コムシス株式会社 加藤 優希

過去25年間で5回にわたって実施されてきた学生調査データを有効に活用するためにSASによるデータベースを構築し、分析事例として2項ロジスティック回帰分析による実演芸術鑑賞行動を規定する要因を探る。

経営管理

B-12 7 7/27(火) 11:00~11:30 2F 瑞雲

時系列予測における外れ値の構造の発見

SAS Institute Japan(株) プロフェッショナルサービス本部 コンサルティングサービス部 コンサルタント 広瀬 俊亮
泉水 克之

本稿では、SAS Forecast Server を用いた時系列予測の精度向上を目的とした、外れ値の取り扱い方について考察する。

サプライチェーン管理 - 販売予測・需要予測

B-13 7 7/27(火) 12:45~13:15 2F 瑞雲

予測分野におけるSASの活用

SAS Institute Japan(株) ビジネス開発本部 SCIグループ マネージャー 石井 宏司
SAS/ETSのリリースから30年が経過し、SASの需要予測ソリューションも様々な広がりを見せてきた。本セッションでは、Supply Chain Intelligence/Merchandize Intelligence ソリューションラインアップの中から、主要な予測系ソリューションについて概説する。

ビジネス活用、マーケティング

B-14 7 7/27(火) 13:15~13:45 2F 瑞雲

通信サービス業におけるデータベースマーケティングの潮流

SAS Institute Japan(株) ビジネス開発本部 CIグループ マネージャー 原島 淳

海外通信事業者の事例を中心に、こんなことを紹介する。

- ① DB マーケティングの全社一元化による効率化 & 最適化
- ② 行動ターゲティングの一步先、人脈やクチコミを活用したマーケティング

教育

C-8 7 7/27(火) 12:15~12:45 4F 407会議室

世界に通じる高い技術の証「SAS 認定プロフェッショナル」 ~全貌の紹介~

SAS Institute Japan(株) プロフェッショナルサービス本部エデュケーション部 部長 杉山 真理子
品質管理、顧客管理、マーケティング分析からリスク管理まで、情報を分析し、課題を導き出すビジネスアナリストの必要性が高まっている。2010年10月より、いよいよ日本でも本格開始するSASグローバル認定プログラム。その資格概要とSAS認定プロフェッショナルの魅力を紹介する。

基礎講座

C-2 7/26(月) 14:15~15:15 4F 401会議室

SAS Enterprise Guide による基礎統計 1

高柳 良太

SAS EGの基本的なオペレーションについて説明する。EGの特徴や、Excelのデータとの関係、出力の形式など、自身は統計解析には慣れていてもEGは未経験の方、スタッフにEGで分析をさせようと考えている方向けに解説する。

C-3 7/26(月) 15:30~16:30 4F 401会議室

SAS Enterprise Guide による基礎統計 2

高柳 良太

統計解析に不慣れなスタッフに、SASEGを使って統計解析を指導する場合の基本事項について説明する。主に基本的統計を例に、EGでの分析や出力の指定方法や注意点などを解説する。

C-4 7/27(火) 9:30~10:30 4F 407会議室

分類のための数量化(1)

慶應義塾大学 総合政策学部 教授 桑原 武夫

質的データを対象とし、複雑な情報を解釈しやすく分類するための数量化を目的とする手法のうち、双対性の原理(西里、1982)に基づく手続きは、多様なデータに適用可能であることから、マーケティング・データの分析において有用性が高い。ここでは、アイテム・カテゴリー(多肢選択)データの分析(数量化Ⅲ類)、および、分割表・度数データの解析(コレスポネンダ分析)といった利用頻度の高い手法をとりあげ、その仕組みを解説するとともに、ブランド・イメージ・データに対する適用事例を検討する。

C-5 7/27(火) 10:30~11:30 4F 407会議室

分類のための数量化(2)

慶應義塾大学 総合政策学部 教授 桑原 武夫

コレスポネンダ分析や数量化Ⅲ類と同様の仕組みによる手法であり、また、個人差を積極的に活用できる非常に有用性の高い方法であるにもかかわらず、現状では、あまり利用頻度が高いとはいえない分析方法をとりあげる。具体的には、双対尺度法の「順序データの解析」および「一対比較データの解析」について、その仕組みを解説するとともに、マーケティング・コンセプトに関する実験データに対する適用事例を検討する。

C-6 7/27(火) 12:45~13:45 4F 407会議室

C-7 7/27(火) 13:45~14:45 4F 407会議室

ユビキタスなデータマイニングの必要性

専修大学 ネットワーク情報学部 江原 淳

マイニング初心者が対象。GDS(商品コード)やRFIDやGPSなどセンシングデータになりうる様々の情報がネットワークで提供されその処理が容易になりつつある。業務トランザクションデータに加えそのようなデータからどう意思決定指標を導出し環境適応につなげていくかが喫緊の課題である。企業はマイニングしながら新たな提案やサービスを生み出していく必要があり、諸業種でのデータマイニングの事例を紹介しながらそれをするための態勢や条件について考察する。

EGハンズオン

D-1 7/26(月) 12:15~13:15 5F ホワイエ

D-2 7/26(月) 14:15~15:15 5F ホワイエ

D-3 7/27(火) 9:30~10:30 5F ホワイエ

D-4 7/27(火) 11:45~12:45 5F ホワイエ

D-5 7/27(火) 13:45~14:45 5F ホワイエ

ポイント & クリックによるSAS Enterprise Guide ハンズオン (45分ですべての! データ加工からレポート作成)

対象:SAS初心者からパワーユーザーまで。SASプログラミング経験は問わず。SASトレーニング講師による、ハンズオン(実機操作)を行う。ポイント & クリックのマウス操作を中心として、データ加工や集計・分析、定型業務化までを紹介。例えば、SASデータセットとExcelファイルを結合して、作成したグラフや集計表をWord、PowerPoint、Excelへ出力する。この流れをStored Processとしてサーバーへ登録し、グループメンバへの配信や作業の共有化を図る。